

2003年9月16日 発行  
2023年11月21日 改訂

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : クリーニングワイヤー  
品番 : 599-029, A1561  
会社名 : 白光株式会社  
住所 : 大阪市浪速区塩草 2 丁目 4 番 5 号  
担当部門 : 営業部  
電話番号 : 06-6561-1574  
FAX 番号 : 06-6568-0821  
メールアドレス : cs@hakko.com  
推奨用途 : こて先クリーナー

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない  
GHS ラベル要素 : 分類基準に該当しない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物  
化学名又は一般名 : こて先クリーニングワイヤー  
成分及び濃度又は濃度範囲

成分	含有量 (%)	CAS 番号
フラックス	ロジン	8050-09-7
	硬化脂肪酸	社外秘
黄銅	>99.8	-

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 作業中に発生する揮発分を吸入して喉、鼻に刺激を受けた場合は、新鮮な空気の場所に移り、うがいをして口の中を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。  
皮膚に付着した場合 : 必要に応じて触れた個所を石鹼を使ってよく洗浄する。  
眼に入った場合 : 清浄な水で数分間、充分洗浄をし、眼に傷がついたときや刺激がある時等、必要に応じて医師の手当てを受ける。  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。  
使ってはならない消火剤 : 棒状放水。  
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
安全に対処できるならば着火源を除去する。  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置 : 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

**6.漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護手袋を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 下水、及び公共水域に流出しないようにする。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 飛散したものを掃き集め、適当な容器に回収する。

**7.取扱い及び保管上の注意**

- 取扱い
  - 技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
  - 局所排気・全体換気 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
  - 安全取扱注意事項 : 「2.危険有害性の要約」に記載の注意書き「安全対策」を参照。
  - 衛生対策 : 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。
- 保管
  - 避けるべき保管条件 : 蓄熱・発火および変質等を防止するため、以下の点を避ける。  
①直射日光 ②高温、高湿 ③屋外保管
  - 安全な容器包装材料 : 適切な容器包装材料。

**8.ばく露防止及び保護措置**

許容濃度

日本産業衛生学会	:	設定されていない
ACGIH 勧告値	:	0.001mg/m <sup>3</sup> (TLV) : ロジン

- 設備対策 : 密閉された装置、機器の使用または局所排気装置を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 保護マスクを使用する。
- 手の保護具 : 保護手袋を使用する。
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡を使用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、作業着、安全靴等を使用する。

**9.物理的及び科学的性質**

- 物理状態 : 固体
- 色 : 黄色～茶褐色
- 臭い : 特異臭
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし

pH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

### 10.安定性及び反応性

反応性	:	加熱すると分解し、刺激性ヒュームを生じる。
化学的安定性	:	保管および取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	:	強酸、強アルカリと反応する恐れがある。
避けるべき条件	:	直射日光、はんだこて以外的高温体との接触を避ける。
混触危険物質	:	強酸化剤、強アルカリ。
危険有害な分解生成物	:	燃烧または高温により分解し、刺激性ヒュームが発生する可能性がある。

### 11.有害性情報

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	:	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	分類できない
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
生殖毒性・授乳影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

### 12.環境影響情報

生態毒性	:	分類できない
残留性・分解性	:	データなし

生体蓄積性 : データなし  
 土壌中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : データなし

**13.廃棄上の注意**

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

**14.輸送上の注意**

国際規制

国連番号 : 分類基準に該当しない  
 品名 : 分類基準に該当しない  
 国連分類 : 分類基準に該当しない  
 容器等級 : 分類基準に該当しない  
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 分類基準に該当しない

国内規制

海上規制情報 : 分類基準に該当しない  
 航空規制情報 : 分類基準に該当しない  
 陸上規制情報 : 分類基準に該当しない

**15.適用法令**

労働安全衛生法 : 該当しない  
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない  
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない

**16.その他の情報**

出典 製造業者の SDS。

本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

改訂履歴

改訂日	内容
2003年9月16日	初版発行。
2004年4月26日	フォーマット変更。
2010年4月1日	組織変更による部署名変更。
2012年6月15日	PRTR 法の表記を変更。
2013年5月9日	改善提案 1568 によるフラックスの変更。

2014年3月7日	環境影響情報を改訂。
2015年11月26日	SDSへ改訂。
2017年3月14日	A1561を追加。
2023年11月21日	フォーマット変更、成分比率を実験データから算出したため修正。 2021年10月20日公布 化管法政令改正に対応。